

4 石垣地区

平成25年 石垣市グッジョブ連携協議会

1 平成24年度 活動概況

(1) 協議会発足の背景

石垣市は小学校20校、中学校9校（内小中設置校4校）、高等学校3校からなるが、高等学校卒業後の進学先が石垣市内には無いため、沖縄本島、あるいは県外へ出る子ども達がほとんどである。そのため、石垣市内への職業の興味関心は低く、島内企業では若い世代の確保が課題となっている。

今後、継続的に本事業を実施するため行政・企業・経済団体や教育機関等を含めた産学官が連携する機関として、石垣市グッジョブ連携協議会を発足した。

(2) 平成24年度活動概況

石垣市内、小学校における大規模校での実施、北部地域4校合同実施、石垣市内の中学校と複式学級を持つ小学校と竹富町の中学校との合同実施など、石垣市地区は他地区のロールモデルとなる実施が多く、それぞれの特性に合わせた出発式、事前学習、送迎、ジョブシャドウイング実施の工夫が必要となったが、大きなトラブルもなく無事全校実施を終えることができた。ジョブシャドウイングを活用した、産学官、地域連携の構築を図った。

(3) 平成25年度への展望

	平成24年度の課題	改善策
実施校 /保護者	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への事業説明が十分ではなかった 送迎サポーター確保 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者説明会を通して保護者の事業理解を深める
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> 実施校への指導、事業説明 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局として協力体制の強化を図る
地域 コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 自治会、公民館等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 自治定例会などに働きかけ、事業周知から連携を図る
行政	<ul style="list-style-type: none"> 市役所内のメンター及び予備メンターの確保 緊急時の危機管理徹底 周知広報 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局としての緊急時の体制を整える 広報誌などを利用し、市民への事業周知を図る
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整会議の出席率 紹介企業の数 	<ul style="list-style-type: none"> 会議への積極的参加を呼びかけ、事業の共通理解を深める 各経済団体の定例会などに働きかけ、受入企業の開拓を行う
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実施状況の共有理解 出発式、説明会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に会議を実施し、成果及び課題を構成メンバーで共有したうえで、今後の役割の住み分けが必要

2 平成25年度の活動概要

石垣市グッジョブ連携協議会発足にあたり、昨年度以上に協議会としての連携を強化した。

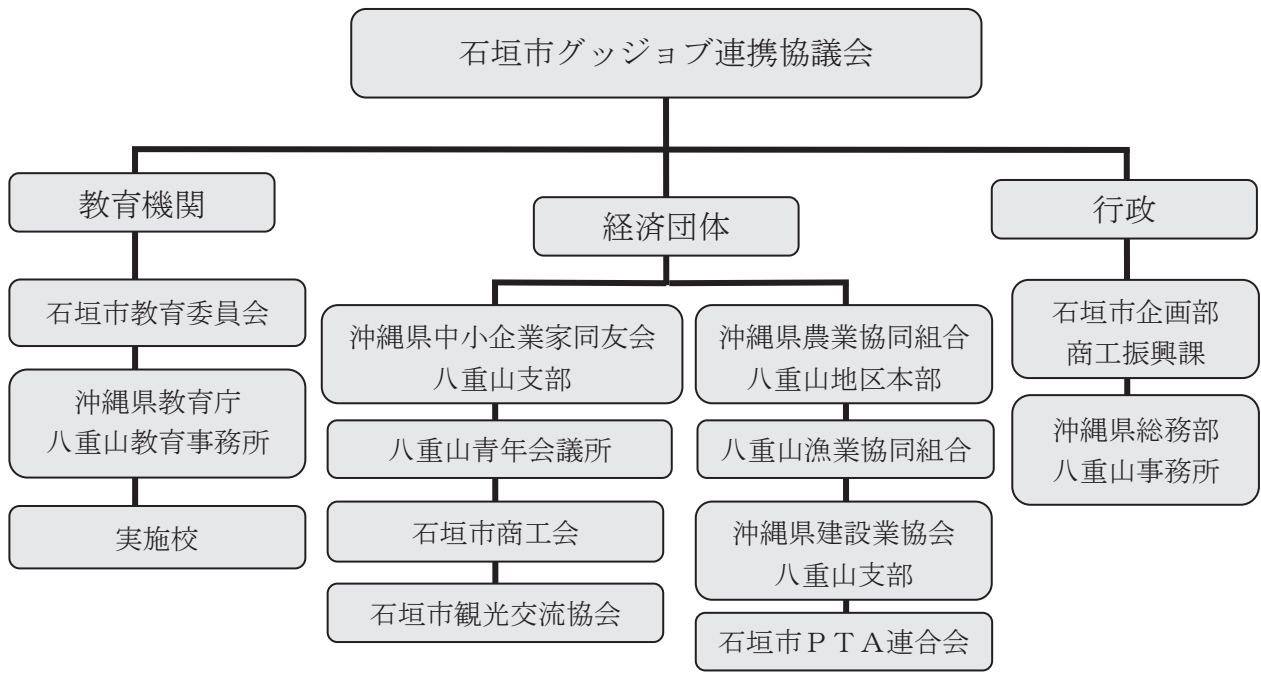
昨年度の課題であった送迎体制については、早めに保護者説明会を行い、本事業の周知と理解を得、送迎サポーターを募ることで解決を図った。また、企業開拓の幅を広げることで、地域の仕事に興味を持ち、働くことへの意欲や関心を高められるよう工夫を行った。

(1) 協議会について

今年度、新たに沖縄県農業協同組合八重山地区本部、八重山漁業協同組合、沖縄県建設業協会八重山支部を加え、幅広い業種業態を網羅できる体制を整えた。また、石垣市PTA連合会を構成メンバーに加え、本事業の周知と、家庭と地域との結びつきを強固にする目的で石垣市グッジョブ連携協議会を立ち上げた。

協議会名称	石垣市グッジョブ連携協議会
所在地	沖縄県石垣市美崎町 14 番地
活動目的(理念)	協議会は、産学官・地域及び家庭が連携し、地域が一体となった具体的な取り組みを実施することにより、将来の石垣市の担い手となる児童生徒の勤労観・職業観の醸成を図るとともに、地域の雇用問題の解決や地域全体の就業意識の向上を図ることを目的とする。

■構成表



■構成団体名簿		
No.	団体名	役職
1	石垣市 企画部商工振興課	課長
2	石垣市教育委員会 学校指導課	課長
3	沖縄県八重山事務所	総務課長
4	沖縄県教育庁 八重山教育事務所	指導主事
5	石垣市商工会	経営指導員
6	沖縄県中小企業家同友会 八重山支部	支部長
7	八重山青年会議所	理事長
8	石垣市観光交流協会	副会長
9	沖縄県農業協同組合 八重山地区本部	本部長
10	八重山漁業協同組合	代表理事組合長
11	沖縄県建設業協会 八重山支部	事務局長
12	石垣市 PTA 連合会	会長
13	石垣市立石垣小学校	校長
14	石垣市立白保中学校	校長
15	石垣市立平久保小学校	校長
16	石垣市立野底小学校	校長
17	石垣市立明石小学校	校長
18	石垣市立伊野田小学校	校長
19	石垣市立富野小学校	校長
20	石垣市立吉原小学校	校長
21	石垣市立崎枝小学校	校長
22	石垣市立大本小学校	校長

(2) 事業計画（実績）報告

今年度の実施校は小学校5・6学年(吉原小学校は5学年が欠学年のため4学年)、中学校1年生を対象にジョブシャドウイングを実施した。実施校については、事務局である石垣市商工振興課と石垣市教育委員会で選定を行った。合同実施においては、実施毎に選定された幹事校が各学校を取りまとめ、日程調整などを行うことでスムーズに行えた。

昨年度のモデル実施で課題となった受入企業開拓については、構成メンバーからの企業紹介や直接開拓でクリアすることが出来た。実施校の担当教員、担任の事業理解といった課題を踏まえ、今年度新たに西部地区を加え、石垣島全域でジョブシャドウイングを実施した。また、送迎についても、保護者説明会を通して保護者に対して本事業の理解を深め、送迎サポーターを募った。

月	実績
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブシャドウイング実施校、実施人数確定 ・地区コーディネーター個別研修 ・【石垣小学校】日程調整
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会 第1回会議開催 ・【石垣小学校】受入企業開拓 ・【白保中学校、北部4校合同、大本小学校、吉原小学校】日程調整 ・【石垣小学校、北部4校合同】校内研修会 ・【石垣小学校、白保中学校、明石小学校、野底小学校】保護者説明会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・【石垣小学校】事前学習、職業人講話 ・【石垣小学校】ジョブシャドウイング実施 ・【石垣小学校】事後学習 ・【大本小学校】保護者説明会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・【石垣小学校】成果発表会 ・【崎枝小学校、富野小学校】保護者説明会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・【白保中学校】受入企業開拓 ・【西部3校+大本小学校合同】キャリア教育講演会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・【北部4校合同、西部3校+大本小学校合同】受入企業開拓 ・【白保中学校】学習内容調整
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・【白保中学校】事前学習、職業人講話 ・【白保中学校】ジョブシャドウイング実施 ・【白保中学校】事後学習 ・【伊野田小学校】保護者説明会 ・【北部4校合同】第1回事前学習、職業人講話
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・【西部3校+大本小学校合同】第1回事前学習、職業人講話 ・【西部3校+大本小学校合同】第2回事前学習、ビジネスマナー学習 ・【北部4校合同】第2回事前学習、ビジネスマナー学習 ・【北部4校合同】ジョブシャドウイング実施 ・【北部4校合同】事後学習 ・【西部3校+大本小学校合同】ジョブシャドウイング実施 ・【富野小学校、吉原小学校、崎枝小学校、大本小学校】事後学習
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成、各種アンケート集計 ・【崎枝小学校】発表会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書作成、各種アンケート集計
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・【白保中学校】発表会 ・【北部4校合同】発表会 ・【富野小学校】発表会 ・【吉原小学校】発表会 ・【大本小学校】発表会
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度ジョブシャドウイング実施校選定

(3) 【受入企業リスト】

昨年度の受入企業を基に、児童生徒の職業選択の幅を広げることを狙い、業種が偏らないようあらゆる分野に開拓・周知を行うことで、受入を募った。

No.	企業名	業種	受入人数	取りまとめ窓口
1	株式会社サンエー 石垣シティ	各種商品小売業	2	事業局
2	株式会社石垣市経済振興公社	各種商品小売業	4	商工会
3	石垣市特産品振興協同組合	協同組合 (ほかに分類されないもの)	9	商工会
4	株式会社石垣島かまぼこ	食料品製造業	1	商工会
5	株式会社あぞみ屋	繊維工業	1	事業局
6	株式会社琉球銀行 八重山支店	銀行業	2	市役所
7	株式会社ピースアイランド ホテルピースアイランド石垣イン八島	宿泊業	2	観光協会
8	株式会社ロイヤルマリンパレス	宿泊業	3	青年会議所
9	ANA インターコンチネンタル 石垣リゾート	宿泊業	15	事業局
10	株式会社トータルサポートえん	社会保険・社会福祉・介護事業	1	石垣小学校
11	沖縄電力株式会社 離島カンパニー 八重山支店	電気業	12	事業局
12	沖縄トヨタ自動車株式会社 八重山支店	機械器具卸売業	6	事業局
13	陸運総合株式会社	機械器具卸売業	2	中小企業家同友会
14	JTA サザンスカイサービス株式会社 石垣空港所	航空運輸業	9	ロータリークラブ
15	日本トランスオーシャン航空株式会社 八重山営業所	航空運輸業	2	ロータリークラブ
16	日本郵便株式会社 八重山郵便局	郵便業 (信書便事業を含む)	4	市役所
17	八重山観光フェリー株式会社	水運業	2	事業局
18	石垣島ドリーム観光株式会社	水運業	2	事業局
19	有限会社安栄観光	水運業	1	事業局
20	有限会社八重泉酒造	飲料・たばこ・飼料製造業	2	中小企業家同友会
21	有限会社ディーシーコーポレーション	洗濯・理容・美容・浴場業	2	中小企業家同友会
22	幸地薬局	その他の小売業	1	中小企業家同友会

23	JA おきなわファーマーズマーケットやえやまゆらていく市場	(他に分類されな いもの)	4	事業局
24	海上保安庁 石垣海上保安部	国家公務	6	事業局
25	第十一管区 海上保安庁 石垣航空基地	国家公務	4	協議会
26	環境省 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所 石垣自然保護官事務所	国家公務	6	事業局
27	気象庁 石垣島地方气象台	国家公務	2	事業局
28	沖縄県 土木建築部 八重山土木事務所	地方公務	2	八重山事務所
29	沖縄県 福祉保健部 八重山福祉保健所	地方公務	1	八重山事務所
30	沖縄県 農業研究センター 石垣支所	地方公務	3	八重山事務所
31	沖縄県 八重山農林水産振興センター	地方公務	2	八重山事務所
32	八重山平和祈念館	地方公務	1	八重山事務所
33	石垣市役所 企画部 企画政策課	地方公務	1	市役所
34	石垣市役所 福祉部 福祉総務課	地方公務	1	市役所
35	石垣市役所 農林水産部 農政経済課	地方公務	1	市役所
36	石垣市消防本部	地方公務	4	市役所
37	石垣市立図書館	地方公務	1	教育委員会
38	沖縄県立八重山病院	医療業	2	協議会
		合 計	126	

※事業局：グッジョブおきなわ推進事業局 ※商工会：石垣市商工会 ※青年会議所：八重山青年会議所
 ※中小企業家同友会：沖縄県中小企業家同友会八重山支部 ※市役所：石垣市役所
 ※教育委員会：石垣市教育委員会 ※八重山事務所：沖縄県総務部八重山事務所

3 実施校 活動報告

- ※ JS：ジョブシャドウイングの略
- ※ コマ数（1校時）：小学校 45分、中学校、高校 50分、大学 90分を指す
- ※ 北部地区 4校：平久保小学校・野底小学校・明石小学校・伊野田小学校
- ※ 西部地区 3校：富野小学校・吉原小学校・崎枝小学校

1. 石垣市立石垣小学校（継続）

1	学校情報	校 長：石垣 安夫			
		住 所：〒907 - 0023 石垣市字石垣 204 番地			
		電 話：0980 - 82 - 2107		FAX：0980 - 83 - 6331	
	実施概略	対象学年： 6年生 2クラス 63人（内 実施 63人）			
担 当：新城 史（1組担任）、高木 彩花（2組担任）					
実施日		コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計

	<p>事前学習：平成 25 年 6 月 20 日 平成 25 年 6 月 25 日</p> <p>J S 実施：平成 25 年 6 月 27 日</p> <p>事後学習：平成 25 年 6 月 27 日 平成 25 年 7 月 4 日 平成 25 年 7 月 8 日 平成 25 年 7 月 10 日</p>	2 コマ	3 コマ	5 コマ
			4 コマ	4 コマ
		2 コマ 2 コマ 2 コマ 1 コマ		7 コマ
実施の ねらい	担当教員との調整で、全体で活動するとパワーはあるものの、個々では引込み思案になる児童が多いという点と、全体では最上級学年という意識や主体性、自主性をもった委員会活動に至っていないとの声を受け、ジョブシャドウイングで責任を持って仕事を行う大人の姿を見て、学校生活で役立てたい。			
事前学習 内容	<p>2 クラスのため、コーディネーター2 人で担当した。</p> <p>1. 自分自身を見つめ直しながら「仕事」「職業」について考え、幅広い視点を持つ。</p> <p>2. ジョブシャドウイングについての理解を深め、実際に行くときの心構えや意識を高める。</p> <p>3. ジョブシャドウイングに行く際に気をつけることや、社会で必要なマナーについて、あいさつ・名刺交換を通して習得する。</p> <p>質問に対しての発言も活発で、児童も集中して授業に取り組んでいた。</p>			
事後学習 内容	<p>5 人 1 グループを作り、それぞれが感じてきた「仕事」「職業」について、共通している部分を出し合い働くことについて振り返りを行った。</p> <p>「仕事を見てよかったこと」「大変だったこと」「メンターさんのここがすごい」「仕事とは」について、グループで意見をまとめ発表した。</p> <p>仕事や働くことについて互いに共通している部分を共有することで、社会への気づきを深めている様子が伺えた。</p>			
発表会	<p>ジョブシャドウイングを通して学んだことを、保護者や受入企業、メンターをお招きし感謝の意を込めて発表を行うことで、学校での取組みの様子やジョブシャドウイングを経験しての児童の変化を伝え、今後の継続した取組みにつながるよう開催した。</p> <p>当日は、企業ごとに作成した成果新聞を、4 箇所に分けたブースでそれぞれ発表を行い、発表時間は 1 人約 6 分。4 部に分けて全員が発表を行った。</p> <p>成果新聞では、クイズを取り入れ、聞く側を飽きさせない工夫がみられた。</p> <p>また、体育館入口ではプロジェクターを用いて、事前学習・職業人講話・ジョブシャドウイング実施の様子をスライドショーで流した。</p> <p>当日は、保護者 5 人・メンター 9 人・県関係者 2 人が参加した。</p>			
職業人 講話	<p>『テレビを通して石垣市の情報発信』</p> <p>石垣ケーブルテレビ株式会社(記者 砂川孫優氏)</p> <p>職業人講話は、体育館で行い 5 年生も一緒に参加した。</p> <p>コーディネーターがインタビュアーとなり、トーク形式で行った。</p> <p>取材道具の説明や編集作業を実際にスクリーンに映し出し、表の見える仕事と裏の見</p>			

	えない仕事を知ることができた。 また、実際に取材で使用しているカメラを回し、児童に取材の様子を見せるなど、仕事をしているイメージを持つことができた。
保護者・地域	日曜参観日の中で保護者説明会を実施し、ジョブシャドウイングの周知、送迎の協力依頼を行った。 石垣地区実施唯一の大規模校であり、受入企業先への送迎では、学校側より文書を出し送迎サポーターを募った。 ジョブシャドウイング当日は、送迎サポーター17人の協力のもと、円滑に送迎を行うことが出来た。
その他	受入企業 29 社協力のもと、ジョブシャドウイングを実施した。 出発式では、他人事ではなく自分のこととして意識して実施できるよう 6 年生全員で児童決意表明を行った。(以下引用) 【私たち 6 年生はジョブシャドウイングに参加するため、三つの柱をたてました。 一つ 「笑顔」 大きな声であいさつ。メンターさんに笑顔で感謝を伝えます。 二つ 「発見」 お仕事をしっかり見て、働くことに真剣に向き合います。 三つ 「夢」 自分の将来の夢や進路について考え、「働く夢」を広げます。 これら三つの柱を守ることで、働くことの大切さを学んでいきたいと思います。働く夢を広げること。夢への第一歩。スタート】

2. 石垣市立白保中学校（継続校）

2	学校情報	校 長：宜野座 安夫			
		住 所：〒907 - 0242		石垣市字白保 268 - 35 番地	
		電 話：0980 - 86 - 7841		FAX：0980 - 86 - 7841	
実施概略	対象学年 ：1 年生 1 クラス	17 人		(内 実施 17 人)	
	担 当 ：瀬名波 綾乃 (1 組担任)、波照間 督紀 (1 組副担任)				
	実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
	事前学習 ：平成 25 年 9 月 4 日		1 コマ		
	平成 25 年 9 月 11 日		1 コマ		
	平成 25 年 10 月 4 日			2 コマ	4 コマ
	J S 実施 ：平成 25 年 10 月 8 日			4 コマ	4 コマ
	事後学習 ：平成 25 年 10 月 8 日		2 コマ		
平成 25 年 10 月 16 日		2 コマ			
平成 25 年 10 月 23 日		1 コマ			
平成 25 年 11 月 1 日		1 コマ			
平成 25 年 11 月 6 日		1 コマ			
平成 25 年 11 月 27 日		2 コマ			
平成 25 年 12 月 4 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 11 日		1 コマ			

	平成 25 年 12 月 16 日 平成 26 年 1 月 8 日 平成 26 年 1 月 9 日 平成 26 年 1 月 15 日 平成 26 年 1 月 16 日 平成 26 年 1 月 20 日 平成 26 年 1 月 22 日 平成 26 年 1 月 29 日	1 コマ 1 コマ 1 コマ 1 コマ 1 コマ 1 コマ 1 コマ 1 コマ		19 コマ
実施の ねらい	地域柄、農業関係の仕事は小さい頃から触れて見ている。全く別の業種を見ることで、ジョブシャドウイングを通して石垣島にあるたくさんの業種業態を、体験とは違い観察することで感じ取ってほしい。			
事前学習 内容	<p>1. 「仕事とは」「働くとは」について考え、幅広い視野を持つ。 生徒全員が答えられるよう、仕事についての質問項目を多く取入れ、自分の考えやまわりの友達の考えをみんなで共有できるよう工夫した。ジョブシャドウイングについての理解を深め、実際に行くときの心構えや意識を高める。</p> <p>2. ジョブシャドウイングに行く際に気をつけることや、社会で必要なマナーを、あいさつ・名刺交換を通して習得する。机は使わず、椅子を半円に並べ、あいさつや名刺交換がしやすいようにした。</p>			
事後学習 内容	<p>ジョブシャドウイング実施を振り返り、「企業名」「メンター名」「仕事を見て凄いなと思ったところ」を、観察シートを用いて一人ひとり発表した。</p> <p>情報をみんなで共有することで、幅広い視点を持てた。発表会に向けての流れ、成果物新聞の作成方法について説明（一番記事・二番記事・三番記事・カコミ記事・編集後記）を行い、新聞作成に役立てる。</p>			
発表会	<p>学習発表会の中でパワーポイントを用い、生徒一人ひとり発表を行った。ジョブシャドウイング事業の取り組みや成果を保護者や地域の大人に向けて発表することで、地域全体で働くことに対する認識や意識を高めることに繋がった。体育館後方では生徒が作成した成果物の壁新聞も展示し、また電子黒板を用いてジョブシャドウイング事業の事前学習から実施、事後学習までの流れを生徒の音声付で、画像を流すなど、見ている人に取り組みが伝わるよう工夫がみられた。</p>			
職業人 講話	<p>『仕事とは ～ネバーギブアップ～』 有限会社石垣設計室(代表取締役 石垣三夫氏) 体育館で行い全校生徒参加した。</p> <p>地域の働く大人に興味・関心を持ち、「働くこと」について考えることを目的とし、講師の中学時代の話、今の仕事をするきっかけや苦労話などを通して社会への「気づき」を促した。</p>			
保護者・ 地域	<p>日曜参観の時間を活用し、保護者向けにジョブシャドウイング事業説明並びに送迎サポーターの呼びかけを行った。</p> <p>ジョブシャドウイング当日は、教員 1 人、市関係者 1 人、送迎サポーター 5 人の協力のもと、円滑に送迎を行うことが出来た。</p>			

その他	当初、出発式は市が管理する施設で行う予定だったが、出発式会場までの移動や時間を考慮し、学校で出発式を行った。受入企業先の市街地まで少し距離はあるが、送迎サポーター協力のもと、受入企業 11 社全てスムーズに送迎を行うことができた。
-----	---

【北部地区4校 合同実施】

北部 4 校合同実施は今年で 2 年目の実施となる。また、石垣市立明石小学校は平成 23 年度のモデル校からジョブシャドウイングを行っている。北部地区の平久保小学校、野底小学校、明石小学校、伊野田小学校の 4 校は年に 2 回合同学習を行っており交流があることから、本事業を合同で取入れた。交流学习も目的のひとつとし、事前学習から事後学習まで全て合同で実施することで、他校の児童と刺激し合いながら行うことができた。詳細は下記に記す。

1. 石垣市立平久保小学校（継続）

1	学校情報	校 長：安和 守光				
		住 所：〒907 - 0331 石垣市字平久保 77 番地				
		電 話：0980 - 82 - 2143		FAX：0980 - 89 - 2261		
	実施概略	対象学年：5・6年生 1クラス 5人（内 実施 5人）				
		担 当：多良間 敦子（1組担任）				
		実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
		事前学習：平成 25 年 7 月 28 日		1 コマ		
		平成 25 年 9 月 27 日		1 コマ		
		平成 25 年 10 月 18 日		1 コマ		
		平成 25 年 10 月 24 日			2 コマ	
平成 25 年 11 月 1 日		1 コマ				
平成 25 年 11 月 8 日		1 コマ				
平成 25 年 11 月 12 日			2 コマ	9 コマ		
J S 実施：平成 25 年 11 月 14 日			4 コマ	4 コマ		
事後学習：平成 25 年 11 月 14 日		1 コマ				
平成 26 年 1 月 17 日		1 コマ				
平成 26 年 1 月 24 日		2 コマ		4 コマ		

2. 石垣市立野底小学校（継続）

2	学校情報	校 長：西前津 松市			
		住 所：〒907 - 0333 石垣市字野底 138 番地			
		電 話：0980 - 89 - 2144		FAX：0980 - 89 - 2079	
実施概略	対象学年：5・6年生 1クラス 13人（内 実施 13人）				
	担 当：田中 直晶（1組担任）				

実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
事前学習 ：平成 25 年 10 月 24 日			2 コマ	
平成 25 年 10 月 30 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 6 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 12 日			2 コマ	
平成 25 年 11 月 13 日		1 コマ		7 コマ
J S 実施 ：平成 25 年 11 月 14 日			4 コマ	4 コマ
事後学習 ：平成 25 年 11 月 14 日		2 コマ		
平成 25 年 12 月 2 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 11 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 12 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 18 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 19 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 24 日		1 コマ		
平成 26 年 2 月 5 日		2 コマ		
平成 26 年 2 月 12 日		1 コマ		
平成 26 年 2 月 13 日		2 コマ		
平成 26 年 2 月 19 日		1 コマ		
平成 26 年 2 月 20 日		1 コマ		15 コマ

3. 石垣市立明石小学校（継続）

3	学校情報	校 長：比嘉 政宏			
		住 所：〒907 - 0332 石垣市字伊原間 249 番地			
電 話：0980 - 89 - 2142		FAX：0980 - 84 - 5275			
実施概略	対象学年：5・6年生 1クラス 3人（内 実施 3人）				
	担 当：真鶴 かおり（1組担任）				
	実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
	事前学習 ：平成 25 年 5 月 20 日		1 コマ		
	平成 25 年 7 月 16 日		1 コマ		
	平成 25 年 9 月 30 日		1 コマ		
	平成 25 年 10 月 24 日			2 コマ	
	平成 25 年 11 月 1 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 8 日		1 コマ			
平成 25 年 11 月 12 日			2 コマ	9 コマ	
J S 実施 ：平成 25 年 11 月 14 日			4 コマ	4 コマ	
事後学習 ：平成 25 年 11 月 14 日		2 コマ			
平成 26 年 1 月 17 日		2 コマ			
平成 26 年 1 月 20 日		1 コマ		5 コマ	

4. 石垣市立伊野田小学校（継続校）

4	学校情報	校 長：西原 貴和子				
		住 所：〒907 - 0241 石垣市字桃里 168-56				
		電 話：0980 - 86 - 850		FAX：0980 - 86 - 7319		
実施概略	対象学年： 5・6年生 1クラス 4人（内 実施 4人）					
	担 当：名嘉眞 功基（1組担任）					
	実施日		コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
	事前学習：平成 25 年 9 月 27 日			1 コマ		
	平成 25 年 10 月 21 日			1 コマ		
	平成 25 年 10 月 22 日			1 コマ		
	平成 25 年 10 月 23 日			1 コマ		
	平成 25 年 10 月 24 日				2 コマ	
平成 25 年 10 月 28 日			1 コマ			
平成 25 年 11 月 11 日			1 コマ			
平成 25 年 11 月 12 日				2 コマ	10 コマ	
J S 実施：平成 25 年 11 月 14 日				4 コマ	4 コマ	
事後学習：平成 25 年 11 月 14 日			1 コマ			
平成 25 年 11 月 15 日			1 コマ			
平成 25 年 11 月 28 日			1 コマ			
平成 25 年 12 月 4 日			1 コマ			
平成 25 年 12 月 6 日			1 コマ			
平成 25 年 12 月 13 日			1 コマ		6 コマ	

【北部地区4校合同実施について】

事前学習 内容	<p>他校との交流も兼ねて、合同で事前学習を行った。</p> <p>1. 自分の知っている仕事、ほかの子が知っている仕事を共有し幅広い視野を持つことを目的とした。</p> <p>2. 1枚の写真を見せ、この写真の中にどれだけの仕事があるかを児童に見つけて答えさせた。ひとつの仕事に、いろんな人が関わって仕事していることを理解する。</p> <p>3. 人とのコミュニケーションを学び、ジョブシャドウイングに行く際に気をつけることや、社会で必要なマナーについて、あいさつ・名刺交換を通して習得する。</p>
事後学習 内容	<p>情報の共有を図るため、ジョブシャドウイング実施後に全員で昼食を取り、午後の1時間4校合同で事後学習を行った。</p> <p>振り返りでは(企業名・メンター名・仕事を見て凄と思ったところ)観察シートを用いて発表した。</p> <p>合同で事後学習を行い全員でのディスカッションを通して、より多くの業種業態を知り、各々が感じてきた「仕事」について情報を共有した。</p>

発表会	野底小学校体育館で、5・6校時を利用し北部4校合同ジョブシャドウイング発表会を実施した。交流学习も含め、当日は保護者やメンターを招き、ジョブシャドウイングで学んだことを発表することでフィードバックを行った。3グループ別に分かれ、ポスターセッション形式で1人3分間の持ち時間で3回発表を行う。保護者やメンター、発表を行っていない児童はそれぞれ聞きたいブースへ行き発表を聞く。プログラムの内容も、各学校で役割を担うなど、合同学習における工夫がされていた。
職業人講話	『音楽を通して働くこと』 シンガーソングライター（カワミツサヤカ氏） コーディネーターがインタビュアーとなり、トーク形式で行った。 「歌」を通して、そこに关わる表に見える仕事と裏の见えない仕事を知り「働くこと」について考える。 小学校時代の自身の夢について話し、児童一人ひとりにも夢があるか問いかけた。ギターや三線を用いてミニライブを行い、手拍子や掛け声といった、音楽を通して人とのコミュニケーションの取り方を学んだ。
保護者・地域	授業参観日を利用し、学校毎に保護者説明会を行った。 ジョブシャドウイング実施までの流れ・目的、協議会の活動概要や受入企業先の説明を行い、本事業の理解と周知を促した。
ジョブシャドウイング当日	受入企業13社協力のもと、実施を行った。 受入企業の場所からは、遠隔地であり学校での出発式が行えないため、石垣市が管理する施設で出発式を行った。 出発式では、各学校での割当てがなされ、司会を児童が担当し「はじめの言葉」「グッジョブ掛声」を加える等、学校主体となって行った。 受入企業への送迎は全て教員で補うことができた。巡回ルートについても事前に調整されていたため、円滑に実施の様子を見ることができた。 事前に担当ルートを決めることで、全ての企業を巡回することができ、情報についても教員間で共有できた。
その他	北部4校合同の校内研修会では、校長先生を含む教員19人が参加し、沖縄県の雇用状況やキャリア教育の必要性、教員全体でのジョブシャドウイングに対する共通理解を促したことで、学校全体として取組むことができた。 日程調整や連絡調整事項等は、幹事校を決め、担当の教員が取りまとめを行った。

【4校合同実施】

4校のうち3校は西部地区にある富野小学校、吉原小学校、崎枝小学校、残り1校は石垣島の中心に位置する大本小学校である。

今年度、対象の5・6学年が各校5～6人と少数であるため、合同で実施した。西部地区は交流学习などを活用しての他校との交流も少ない。合同で事前学習やジョブシャドウイングを行うことで、他校との交流を深め、多くの意見を聞くことで、視野を広げ情報の共有を図ることを目的とした。

また、西部地区と大本小学校区は、学校区近隣に企業が少ない。西部地区は石垣市の中ではキャリア教育の取組みが未着手の学校が多く、大本小学校区も近隣に企業が少ないため、職場体験や職場見学などのキャリア教育の充実ができずにいた。本事業を行うことで、学校と地域が連携することを期待し、共通する課題を見つけ、合同実施を通して解決に繋げられるよう今年度取組んだ。取組みの詳細は下記に記す。

1. 石垣市立大本小学校（継続）

1	学校情報	校 長：石垣 俊子			
		住 所：〒907 - 0002 石垣市字真栄里 1111 番地			
電 話：0980 - 82 - 6315		FAX：0980 - 84 - 1860			
実施概略	対象学年： 5・6年生 1クラス 5人（内 実施 5人）				
	担 当：具志堅 美和（1組担任）				
	実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
	事前学習：平成 25 年 9 月 26 日		2 コマ		
	平成 25 年 10 月 9 日		1 コマ		
	平成 25 年 10 月 10 日		1 コマ		
	平成 25 年 11 月 5 日			2 コマ	
	平成 25 年 11 月 7 日			2 コマ	8 コマ
J S 実施：平成 25 年 11 月 15 日			4 コマ	4 コマ	
事後学習：平成 25 年 11 月 18 日		1 コマ			
平成 25 年 11 月 25 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 2 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 9 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 12 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 16 日		1 コマ			
平成 25 年 12 月 18 日		1 コマ		7 コマ	

2. 石垣市立富野小学校（新規）

2	学校情報	校 長：宜野座 愛子			
		住 所：〒907 - 2143 石垣市字椋海 299-45			
電 話：0980 - 88 - 2143		FAX：0980 - 84 - 4976			
実施概略	対象学年： 5・6年生 1クラス 5人（内 実施 5人）				
	担 当：當間 園子（教務）、新城 浩史（1組担任）				
	実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
	事前学習：平成 25 年 9 月 5 日		1 コマ		
	平成 25 年 10 月 11 日		1 コマ		
	平成 25 年 11 月 1 日		1 コマ		
	平成 25 年 11 月 5 日			2 コマ	
	平成 25 年 11 月 7 日			2 コマ	7 コマ
J S 実施：平成 25 年 11 月 15 日			4 コマ	4 コマ	
事後学習：平成 25 年 11 月 15 日		2 コマ			
平成 25 年 11 月 18 日		1 コマ			
平成 26 年 1 月 9 日		2 コマ			
平成 26 年 1 月 15 日		1 コマ			

		平成 26 年 1 月 16 日	2 コマ		
		平成 26 年 1 月 17 日	1 コマ		
		平成 26 年 1 月 21 日	2 コマ		
		平成 26 年 1 月 23 日	2 コマ		13 コマ

3. 石垣市立吉原小学校（新規）

3	学校情報	校 長：榮多 善仁				
		住 所：〒907 - 0453 石垣市字川平 1218 - 137				
		電 話：0980 - 88 - 2144		FAX：0980 - 88 - 2147		
	実施概略	対象学年： 4・5 年生 1 クラス 6 人（内 実施 6 人）				
		担 当：池原 豊（1 組担任）				
		実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
		事前学習：平成 25 年 10 月 22 日		1 コマ		
		平成 25 年 10 月 25 日		1 コマ		
		平成 25 年 10 月 28 日		1 コマ		
		平成 25 年 11 月 1 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 5 日			2 コマ			
平成 25 年 11 月 7 日			2 コマ			
平成 25 年 11 月 11 日		1 コマ		9 コマ		
J S 実施：平成 25 年 11 月 15 日			4 コマ	4 コマ		
事後学習：平成 25 年 11 月 18 日		1 コマ				
平成 25 年 11 月 19 日		1 コマ				
平成 25 年 12 月 9 日		1 コマ				
平成 25 年 12 月 17 日		1 コマ				
平成 25 年 12 月 20 日		1 コマ				
平成 26 年 1 月 14 日		2 コマ				
平成 26 年 1 月 17 日		1 コマ				
平成 26 年 1 月 21 日		1 コマ				
平成 26 年 1 月 22 日		1 コマ				
平成 26 年 2 月 4 日		1 コマ				
平成 26 年 2 月 18 日		1 コマ				
平成 26 年 2 月 21 日		1 コマ				
平成 26 年 2 月 24 日		2 コマ		15 コマ		

4. 石垣市立崎枝小学校（新規）

4	学校情報	校 長：清水 ちか子			
		住 所：〒907 - 0452 石垣市字崎枝 530 - 18			
		電 話：0980 - 88 - 2142		FAX：0980 - 84 - 4558	
実施概略	対象学年： 5・6 年生 1 クラス 5 人（内 実施 5 人）				
	担 当：照屋 徹平（1 組担任）				

実施日	コマ数	学校 実施	事務局 実施	合 計
事前学習：平成 25 年 10 月 15 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 5 日		1 コマ	2 コマ	
平成 25 年 11 月 7 日			2 コマ	6 コマ
J S 実施：平成 25 年 11 月 15 日			4 コマ	4 コマ
事後学習：平成 25 年 11 月 18 日		2 コマ		
平成 25 年 11 月 19 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 21 日		1 コマ		
平成 25 年 11 月 25 日		2 コマ		
平成 25 年 11 月 26 日		2 コマ		
平成 25 年 11 月 29 日		2 コマ		
平成 25 年 12 月 2 日		2 コマ		
平成 25 年 12 月 6 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 9 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 10 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 11 日		1 コマ		
平成 25 年 12 月 12 日		2 コマ		
平成 25 年 12 月 13 日		1 コマ		19 コマ

【4校合同実施について】

事前学習 内容	<p>4校合同で事前学習を行った。</p> <p>授業の目的のひとつとして、他校との交流を深め目的意識を持って授業を行ってほしいと学校より要望があった。</p> <p>授業中は緊張を和らげるため、アイスブレイクを取入れ、楽しい雰囲気の中でジョブシャドウイング実施の際の意識を高め、相手の話を聞く・相手に伝えることの大切さに気づきを得られるよう心掛けた。</p> <p>マナー学習では、人とのコミュニケーションを学び、ジョブシャドウイングに行く際に気をつけることや、社会で必要なマナーについて、あいさつ・名刺交換を通して習得した。</p> <p>名刺交換の練習の際は、他校の児童と行うことで緊張感を持って取組めた。</p>
事後学習 内容	<p>各学校で事後学習を行った。</p> <p>ジョブシャドウイングでお世話になった企業・メンターへお礼状の作成を行った。企業へお礼状送付の際、各校同じタイミングで発送できるよう事前に調整を行った。</p> <p>事後テキストを用い、振り返りを行い「仕事について」「働くことについて」、学びを深め、各々の感じてきたことを発表することで、共通理解を促した。成果物新聞の作成に向けては、作成方法や発表方法などを工夫しながら各自が作成を進めた。</p>
発表会	<p>各校、学習発表会や授業参観日の中でジョブシャドウイング事業の発表を行った。保護者や地域の大人、招待したメンターに対しフィードバックを行うことで、取組みを深めることができた。</p> <p>・崎枝小学校</p>

	<p>ジョブシャドウイング実施の様子を、パワーポイントを用いて写真を織り交ぜながら発表した。また、受入企業の制服やメンターの格好を児童が再現し、見ている側がイメージしやすいよう発表への工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大本小学校 総合的な学習「プロジェクトX～挑戦者達～」と題し、ジョブシャドウイングの感想を、パワーポイントを用い発表した。体育館入口では成果物新聞の展示もあり、取組みの様子が見てわかるよう工夫していた。発表会に出席したJTA サザンスカイサービス株式会社の課長から、「コミュニケーションの大切さを再認識した」との感想をいただいた。 ・富野小学校 総合発表「働く大人はかっこいい！」と題し、ジョブシャドウイング実施の感想を、事前学習・職業人講話、実施までの一連の流れを説明し、各々がジョブシャドウイングで感じたこと、将来の夢に向けて今後どう取組んでいきたいかを発表した。 ・吉原小学校 授業参観日を利用し、ポスターセッション形式で、保護者向けにジョブシャドウイングで取組んできたことを発表していた。
職業人講話	<p>『働く大人』 光楽園(店長 兼久和菜氏) 吉原小学校音楽室で、4校合同で行った。コーディネーターとインタビュー形式で行い、講話が単調にならないよう工夫した。 自営業で飲食店を開いている講師の具体的な仕事の内容と仕事のやりがいや苦労話等を聞くことで、「仕事」「働く」ことについて考えるきっかけをつくる。</p>
保護者・地域	<p>新規校ということもあり、保護者に対して授業参観日の時間を活用し、事業説明と、ジョブシャドウイングの取組み内容についての説明会を行った。参加した保護者は、児童が自分の好きな仕事を選び、そこでジョブシャドウイングを行えると思う保護者が多かったが、本事業のねらいは、児童の職業に対する視野や情報量を広げる目的もあるとの説明をし、しっかりと理解を得られるよう行った。</p>
ジョブシャドウイング当日	<p>ジョブシャドウイング受入企業の場所からは、遠隔地であり学校での出発式が行えないため、石垣市が管理する施設で出発式を行った。 出発式では、司会、校長挨拶、児童決意表明を各学校で役割を担った。 受入企業9社へは7ルートに分け、教員5人と市関係者1人で送迎を行った。受入企業を隈なく回り、児童の様子を見ることができるよう巡回ルートは各校の教員で担当を決めた。巡回した教員からは、担当ルートが決まっていた全ての企業を巡回し児童の様子を見ることができ、教員間で情報を共有することができたなどの感想があり、教員へも良い効果を生み出した。</p>
その他	<p>西部地区合同でキャリア教育講演会を実施し、校長教頭を含む25人が参加した。沖縄県の雇用状況を知り、キャリア教育の必要性を認識し、教員全体でのジョブシャドウイングに対する周知と理解を得た。 日程調整や連絡調整事項等は、幹事校を決め、担当の教員が取りまとめを行った。</p>

◆取組みの様子



【石垣小事前学習 マナー学習】



【石垣小 職業人講話】



【石垣小 JS実施中】
海上保安庁石垣航空基地



【石垣小 JS実施中】
石垣市立図書館



【石垣小 事後学習】



【石垣 小発表会】
ポスターセッション



【白保中 JS実施中】
あざみ屋



【白保中 JS実施中】
ANAインターコンチネンタル石垣リゾート



【白保中 事後学習】



【白保中事前学習 名刺交換】



【みんなでグッジョブ!】



【白保中 職業人講話】



【北部4校合同 事前学習】



【北部4校合同 職業人講話】



【北部4校合同 JS実施中】
石垣自然保護官事務所



【北部4校合同 JS実施中】
JTAサザンスカイサービス株式会社



【北部4校合同 JS実施中】
石垣島地方気象台



【JS実施中】
農業研究センター



【西部合同事前学習 ワーク中】



【西部合同 職業人講話】



【西部合同 JS実施中】
株式会社サンエー



【西部合同 JS実施中】
沖縄トヨタ自動車株式会社



【西部合同 JS実施中】
石垣市特産品販売センター



【西部合同 JS実施中】
JTAサザンスカイサービス株式会社

4 ヒアリング及びアンケート考察

【実施校】

今年度、ジョブシャドウイング実施を行うにあたり、新規校については個別に学校訪問しジョブシャドウイング事業の理解を深めた。また、校内研修等を実施し、学校全体に事業周知並びに共有を図った。

北部地区や西部地区は、遠隔地であり近隣に企業が少なく、職場体験や職場見学といったキャリア教育が充実できなかつた中でジョブシャドウイングを実施し、高い評価を得ることができた。継続校の中で、複式学級の学校は5年生と6年生で2回ジョブシャドウイングを行うことで比べることができとても良かったとの声があった。実施後は、「働く姿を見たことでリーダーシップができ、下級生に対する伝え方や指示の仕方が良くなった」「化学反応を起こしている段階で言葉や態度ではまだ表れていないが、夢や仕事に対する考え方や想いが変わってきている」と、担任の先生からの声もあった。

合同実施において、「事前に全ての日程が決まっているので、取り組みやすかった。しかし、運動会や他の学校行事と重なり、他校との学校行事を確認しながら日程調整を行うのに苦労した」との声もあがった。

【児童生徒】

ジョブシャドウイングを実施した9割の児童生徒は実施後、仕事に対するイメージが「良い方向に変わった」と答えた。2時間の実施の中で、働く大人を観察することでこれまでの考え方に変化が見られ、学校生活に臨む態度も良い方向に変わったようだ。

北部地区や西部地区においては、事前学習・ジョブシャドウイング実施まで合同で行ったことで、交流を深められお互いを刺激し合い実施できる良い機会となった。事前学習のあいさつや名刺交換の練習でも、緊張感をもって取り組むことができた。

ジョブシャドウイングを通して、学校生活で行うあいさつや係活動が仕事へどう結びつくのかを知るきっかけとなった。

【受入企業】

昨年度のモデル実施を経て、ジョブシャドウイングに対する周知ができており、企業への受入依頼は比較的スムーズに行えた。企業窓口担当者を置くことで、多岐に渡る部署からメンターが選出され、幅広く業種業態を見せることができた。実施後のメンターからは、「働くことの意味、大切さを伝えられれば」「社会貢献の一助になれば」との声もあり、事業に対する理解と協力が得られた。

しかし中には「2時間の実施で伝えることができたか」などの不安の声もあった。選出されたメンターへジョブシャドウイング当日の流れや注意事項等の説明を行ったが、中には説明が不足していたところもあり、ジョブシャドウイング自体がよくわからず不安を抱えたまま当日に臨んだとの声もあった。また、当日になってマスコミからの取材依頼があり、急きょ受入企業へ対応を依頼する場面があった。事前に把握し伝える調整をして、企業負担の軽減に努める。

5 実施総括（成果と課題）

	事例	課題	今後の取組についての展望・改善点
実施校 /保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会の実施 ・校内研修会で全職員の事業共通理解 ・保護者サポーター協力依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校により参加者のばらつきがある ・ジョブシャドウイング事業周知が不十分で保護者サポーターの確保が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会はジョブシャドウイング実施の周知と送迎において重要となるため、学校と十分な調整を行う
教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブシャドウイング児童生徒受入協力及び関連機関への受入紹介 ・送迎の協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関の協力体制 ・情報の共有と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有と連携の強化 ・学校支援地域本部コーディネーターへの事業説明及び情報の共有
地域コミュニティー	<ul style="list-style-type: none"> ・八重山記者クラブを利用し、各マスコミへの取材依頼 ・職業人講話講師 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への情報周知の方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ機関へジョブシャドウイング受入依頼
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブシャドウイング受入依頼 ・予備メンターの確保 ・送迎車両及びサポーター協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブシャドウイング事業理解と周知 ・児童生徒受入態勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市 Facebook の活用と情報の発信 ・広報いしがきの活用、掲載依頼
経済団体	<ul style="list-style-type: none"> ・傘下にある会員企業への事業説明及び紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入企業紹介の連携が鈍い 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業開拓の幅を広げる ・各総会でジョブシャドウイング事業説明の場を設けていただく
協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに構成メンバーを加えた 沖縄県農業協同組合八重山地区本部／八重山漁業協同組合／沖縄県建設業協会八重山支部／石垣市PTA 連合会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに加わった構成メンバーへの事業説明の徹底 ・構成メンバーへのジョブシャドウイング実施報告 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に協議会を実施し、成果と課題を共有する

6 その他の取組や実績

- 8月 西部地区合同キャリア教育講演会(校長先生含む教職員25名参加)
- 11月 北海道室蘭市 室蘭市議会行政視察研修
(「グッジョブ運動」についての事業説明。産学官、地域及び家庭が連携した取組み、児童生徒の就労観・職業観醸成の取組みについて説明)
- 3月 石垣地区ジョブシャドウイング実施パネル展開催(石垣市役所売店前ロビー)

7 次年度への展望

本年度の石垣地区では、昨年度に引続き大規模校の実施、北部地区と西部地区の2回に及ぶ4校合同実施が行われた。本年度は、昨年度の課題である受入企業への送迎体制や実施校と受入企業の事業理解を深めること、合同実施の日程調整を綿密に行うことを踏まえ実施を行った。その結果、企業開拓の幅も広がり、石垣島にある様々な業種業態を開拓するとともに受入企業への事業理解と協力を得ることができ、無事すべての児童生徒126人がジョブシャドウイングを実施できた。

送迎についても校内説明会を開催することで、教員、保護者の送迎サポーターが集まり、円滑にジョブシャドウイングを実施できた。地域内のキャリア教育を考えていく観点では、遠隔地の学校では、近隣に企業が少なく職場体験や職場見学などのキャリア教育の充実ができずにいたので、ジョブシャドウイングを一つのツールとして学校教育に位置づけることが出来た。児童においては、他校とのコミュニケーションを図れたことで児童が互いに刺激し合い、幅広い考えや意見を知ることで職業選択・就労観について広がりをもてることができた。

実施体制においては、移動時間を考慮し石垣市が管理する施設で出発式を行った。また、幹事校が学校窓口となり日程調整等を行うことで教員の負担を軽減できた。

北部地区は、本年度2年目の取組みとなり、各校との学校調整や日程調整、送迎体制においてスムーズに実施できた。送迎では、児童の数が学校によりばらつきがあるため、児童数が多い学校では負担との声もあったが、教員間の連携によりカバーすることができた。さらに幹事校だけでなく学校毎で役割を担うなど、学校が主体的に取組めるよう体制が構築できた。西部地区では、これまで他校との交流が少なかったため、事前学習から実施までを合同で行うことで交流学习の一助となった。

次年度の展望として、新たに加わった構成メンバーへの事業理解と協力を促し、より幅広い企業開拓を目指せるよう連携の構築を図り構成団体と地域との協力体制を強化していきたい。また、学校側、受入企業側の要望をきちんと加味したうえで、双方の現場負担を軽減したい。学校が行うべきこと、事務局が行うべきことを明確化し住み分けするとともに、作業を簡素化し石垣地区独自のアレンジを加え、より効率よく円滑にジョブシャドウイングが実施できるよう環境を整えたい。